



17-May-19

## 「京都愛物語Ⅲ」 第1回京すずめ大学校講義概要

新緑の美しい5月12日、嵐電嵐山駅からフィールドワークをしながら、祐齋亭へ移動しました。嵯峨天皇以来、天皇が即位礼や儀式で着用される上着の色は黄櫨染(こうろぜん)と定められ、歴代の天皇がお召しになりました。曜変色で太陽を宿す染は日本独特の染で、世界のどこにもない染であります。

10年前にフランスのルーヴル宮内パリ装飾美術館にて作品展示、ルーヴル美術館で展示会をされ、また2019年もパリで、国際工芸展をデヴェ・ラシオンでフランスの人間国宝とコラボして展示会の開催をされます。

この染を平成2年(1990)に調査し、復元された染色作家・奥田祐齋先生の工房をお尋ねいたしました。



この祐齋亭は、もとは天竜寺の「門前茶屋・千鳥亭」のお屋敷です。講座は川端康成先生が『山の音』を執筆された川端ルームで始まり、次に丸窓の座敷、サロンへと移動し講義が行われました。

### 「京都愛物語Ⅲ 嵯峨天皇の愛した黄櫨染(こうろぜん)」

日時:2019年5月12日午後1時30分~3時

会場:嵐山祐齋亭 右京区嵯峨亀ノ尾町6 電話 075-881-2331

講師:奥田祐齋(ゆうさい)氏 染色作家

講師プロフィール

1950年、三重県熊野市生まれ。

絵画活動を経て、京都にて染色作家となる。水と火を絶妙に操り、自然との調和から生まれる「にじみ」を活かした作風で知られる。幻の染めである黄櫨染(こうろぜん)を現代に再現し、光によって染め色が変化する独自の染色技法、夢こうろ染(ゆめこうろ)

1





ぞめ)を誕生させた。著書に「夢を染める」等他。2008年、ルーヴル宮内パリ装飾美術館にて作品展示、高い評価を得る。2019年もパリにて展示を行う。



### 講座概要

黄櫨染は天皇の最高の装束として、嵯峨天皇から1200年間歴代の天皇が即位礼でお召しになっていて、年齢の高い天皇には渋い色合いが用いられ、お若い天皇の時は明るい色合いだったようです。

この黄櫨染の調査は1200年間で約11件が報告しており、11番目位に調査した奥田祐斎先生は、この染の復元に成功しました。限りなく太古に近い水をつくり、櫨(はぜ)、蘇芳(すおう)、紫紺(しこん)等で、曜変色の染をつくり、神事の折、かがり火を焚くと、あたかも太陽が昇ったように太陽を宿す色彩になります。こういう染は世界でも日本だけのものです。

日の丸の赤はすべての生命の源となりますが、中国人から見た太陽の色は黄色で、古代、中国をお手本としていた日本は黄色を最高の色としていたようです。大陸の文化と日本の文化の違いは、大陸の文化は出来上がった時が一番良い状態で、日本の文化は出来上がった時も良いけれど、どんどん変わっていく時間の経緯が素晴らしい。(わびさび)

十二単は平安京時代に始まって、高温多湿な日本では、服に風が入る着物が着用され、大陸の呉服は筒状で風は入りません。ファッション革命は平安時代から始まったのです。

京都の文化は水がベースになっています。京都ブランドは水が基本です。軟水がベースになっている食文化や芸術もなりたっています。京料理は水が良いのでうま味があり、中国は水が悪いので油の料理、ヨーロッパはワインが水より安いので、ワインで料理します。

ここで、曜変色の染をご覧くださいませ。



IMG\_6455.MOV



IMG\_6461.MOV





17-May-19

フランスも日本に見習って人間国宝制度をつくるようです。フランス人とコラボしてパリの国際美術工芸展をデヴェ・ラシオンでご披露してきます。その後、イタリア、中国の蘇州と世界各地で展示会を開催予定です。

世界中から日本はクールジャパンと言われてレストランでも今風の新しいレストランは味噌、醤油を使って料理します。静かなる日本食ブームの中にあって、日本独特の染・曜変色の黄櫨染を広く知って頂きたいと思います。

この祐齋亭にはお茶室のようなトイレが2つあります。枯山水と金魚のトイレです。参加者はこのトイレを使用させていただき、講座を終了いたしました。



祐齋亭へ移動する道中、フィールドワークも行いました。以下レジュメです。

## フィールドワーク

### 嵯峨野・嵐山

4世紀末から渡来人が来日、5世紀後半に朝鮮南部より今木(いまき)の才技(てひと)と呼ばれる新技術を持った渡来人が移住するようになりました。葛野大堰の造築がなされて、多くの井堰が造られ、最先端の土木技術を用いて水利工事・治水灌漑、農地開発を行いました。

この嵐山地域は平安時代から貴族の別荘地として栄え、また田畑を開墾した風光明媚な所です。桂川は現在では、河川法の施行で桂川と統一されていますが、嵐山付近の桂川を大堰川と言うことが通例となっています。

丹波山地の水を集めた大堰川は保津峡から嵐山の東南に上流から運んできた土砂

3





を堆積させ、ここに井堰を造営したのが、秦河勝の一族です。その堆積した土地を開拓して田畑にしたのが秦氏で、大堰川の下流にある松尾の山に祭ったのが松尾大社の神、大山昨神(おおやまくいのかみ)です。

この大山昨神は大津の日吉(ひえ)大社が松尾大社に祀られていて、山の端から端までを守り治めた地主神です。

ちなみに神の降りてくる所がマチ(街、町)で、そこで行いをするのがマツリということが祭であると言い伝えられています。町の語源がヒトの集まってくるのを待つことにあるとも言われています。

### 地名について

『日本書紀』には顕宗天皇 3 年 2 月の条に、月神の宣託によって歌荒櫟田(うたあらすだ)を賜ったとあります。「歌」は「宇太」で、「荒櫟」は「ある」という動詞の他動詞で葛野の宇太の田を奉獻したことを記しています。嵐山は旧荒櫟田と『大日本地名辞書』にあり、荒櫟山というのは荒櫟田にある山ということで荒櫟の田というのが起源です。つまり荒櫟田にある山が変化して嵐山という地名が出来上がったのです。

### 開墾・大堰川

4世紀ごろより渡来人が論語を伝来し5世紀後半より朝鮮南部より今木(いまき)の才伎(てひと)と呼ばれる新技術を持った渡来人が移住したところであり、最先端の土木技術や水利工事・治水灌漑、農地開発を行いました。

養蚕の氏と知られる秦氏は嵐山地域で5世紀に、葛野大堰の造築にあたった事が大宝律令の注釈書『古記』に書かれています。この葛野大堰は貯水ダムと農業用水を確保して嵯峨野方面が開拓され、葛野地方に平安京建都前後、山背国府(やましろのこくふ)が置かれ、葛野川東岸が平安京右京となったのも治水事業成功に依るところが大きかったのです。平安時代より水上交通路であった大堰川は、貴族が船遊びをしたところで、陸を離れて水上の風景を楽しみました。水上での食事などができるということは、日常の喧騒を忘れてリセットできる場所であることも、嵐山の魅力でもあります。

### 渡月橋

～満月が渡るに似て～

現在の渡月橋は昭和9年(1934年)に作られたものですが、この渡月橋のルーツには2つの説があります。一つは承和3年(じょうわ・836年)に僧の道昌(どうしょう)が大堰川の修築を行った時に作られたとする説です。道昌は弘法大師の弟子でした。

二つ目の説は嵯峨天皇の行幸の折、作られたという説です。嵯峨天皇は786年～842年生かされていた訳ですから、9世紀には渡月橋は存在したいということになりま





す。渡月橋の命名は、亀山上皇が丹朱を塗った美しい橋が満月に照らされて、水に映る橋に見惚れて命名したと言われていています。秋の満月の夜に渡月橋をご覧いただくと意味が判ると思います。

### 大堰川

堰が多いことから大堰川と呼ばれるようになります。行政上の表記は桂川ですが、京北地区からは上桂川、南丹八木地区から亀岡にかけては大堰川、保津町から嵐山までは保津川と通称名で呼びますが、河川法ではすべて桂川に統一されています。

渡月橋までを保津川、大堰川、桂川と名前が変わるのは、川の流れの特徴によって分かりやすい名前をつけて呼んだ名残です。渡月橋の北は堰が多いので大堰川と呼んだのです。

北区中川地区にある菩提川も菩提の滝を経て、桂川に流れ込んでいます。川端康成先生の『古都』に登場する舞台でもあります。

### 貴族の別荘地

平安時代から天皇や貴族は職住一体で、プライベートがありませんでした。そこで、宇治や嵯峨野等に別荘をつくり精神修養と休養を兼ねた時間を持ちました。ここ嵐山は大覚寺が元嵯峨離宮と呼ばれたように天皇の別荘地帯でもありました。

### 嵐山祐斎亭

元料理旅館・千鳥で、川端康成先生が『山の音』を執筆された隠れ家でもあります。現在は染色作家・奥田祐斎先生の工房謙自宅となっていて、世界各地より、数多くの芸術家が集まっています。また、エルメス等の世界的なデザイナーが視察に訪れています。

このお屋敷に茶室のようなトイレを作られ、絵付トイレが2基設置されています。手洗いは水禽窟、照明は竹の筒、天井には番傘を逆さまにしたもの。便器は清水焼の絵付けトイレで山水と金魚の2つのブース、どれもお茶室のようなトイレです。

## 次回京すずめ大学校のお知らせ

テーマ：京都愛物語Ⅲ「鴨川と鮎の塩焼きを愛した京の人々」

鮎の友釣り発祥の京都で鮎を釣る・鴨川での鮎の友釣り体験

講師：賀茂川漁業協同組合 代表理事組合長 澤健次氏

日時：2019年7月21日(日)午前10時

集合場所：鮎の状況を見て、出町柳から五条の間で釣りに適した場所を連絡します。





17-May-19

現時点では、四条大橋下西側河川敷で（小雨決行当日の朝 8 時の天候により決定）友釣り体験を行います。河川状況により中止する場合がありますので、ご了承ください。鮎の生息状況を見て、集合場所を参加される方に出町柳～五条の間のどこになるかをご連絡いたします。予備日 8 月 4 日午前 10 時 鮎釣りは草履を持参頂き、川に入って頂けますが、友釣りを体験される方は、膝下まで川の水がくることをご了承ください。お話と実演と体験

以上

